



2021/3期（第45期）第2四半期 決算説明資料

2020年11月20日
株式会社フォーカスシステムズ
(証券コード：4662)

- 1 2021/3期（第45期）第2四半期決算 P.3
- 2 2021/3期（第45期）業績予想 P.18
- 3 <ご参考> トピックス P.21
- 4 <ご参考> 当社の概要 P.25

1 2021/3期（第45期）第2四半期決算

決算概要

- 売上高・営業利益は前年超え、経常利益・純利益は前年同四半期比約99%と同水準を保つ。
- 市況変化に対し、販管費抑制等により業績への影響を軽微に留めた。

事業概況

- 公的医療保険関連等の着実な進捗により、公共分野の底堅さが全体業績をけん引。
- 名古屋圏に市況停滞感が漂うものの、首都圏・大阪圏では一部案件が活性化。主要顧客への提案営業を進める中、徐々に民間案件に復調が見える。
- AI・クラウド等先端技術を活用する等、ビジネス機会の拡張を見据える。下期以降も、共同研究・受託案件の開拓が進む。
 - 「脳核医学領域初のAIを用いた検査時間短縮の共同研究を開始」
 - 「AIの自然言語処理を活用した製品安全業務支援システムの開発を受託」
 - 「業界初！グループワークの話し合いをリアルタイムで見える化」ほか
- 各事業セグメントでは提案営業力を発揮し、足もとでは概ね成長軌道を取戻した。

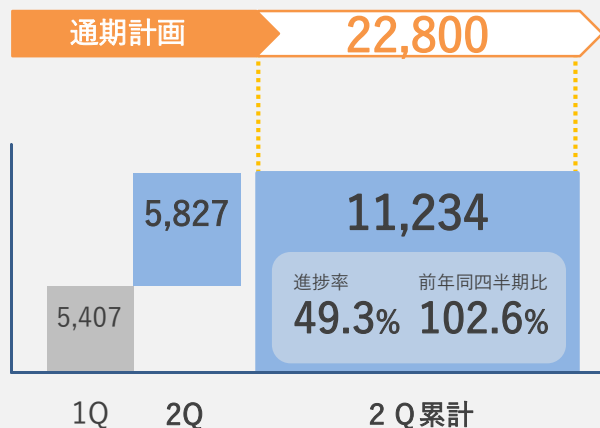
(単位:百万円)

	2020/3期				2021/3期		前年同四半期比	
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	通期 実績	1Q 実績	2Q 実績	増減額	増減率
売上高	5,298	10,951	16,402	22,703	5,407	11,234	283	2.6%
営業利益	321	682	1,063	1,428	322	687	5	0.8%
経常利益	336	707	1,088	1,467	328	699	△8	△1.2%
純利益	243	489	734	930	216	482	△7	△1.3%

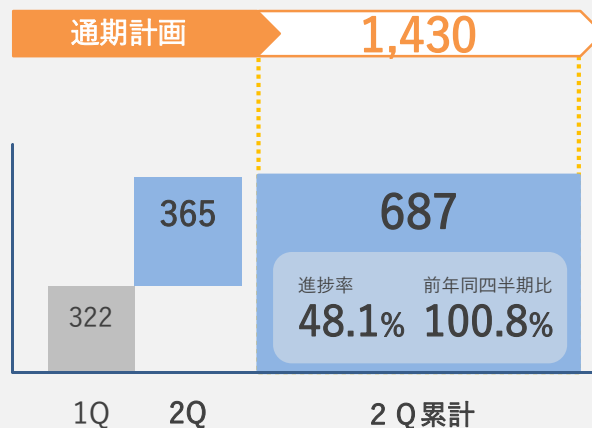
■ 新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、強固な事業基盤の源泉“伴走型で顧客のニーズを捉えた提案営業力”等を強みに前年同四半期比で増収。

(単位：百万円)

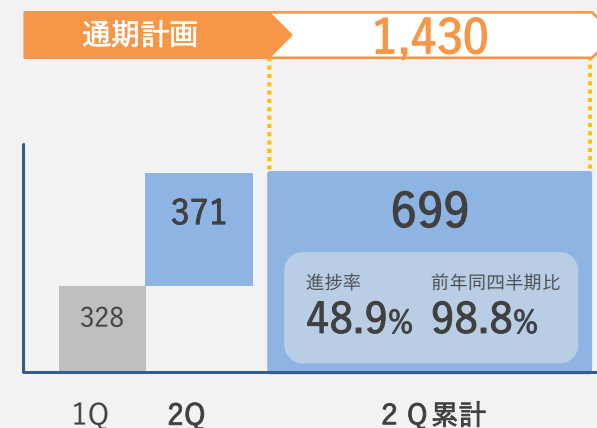
売上高



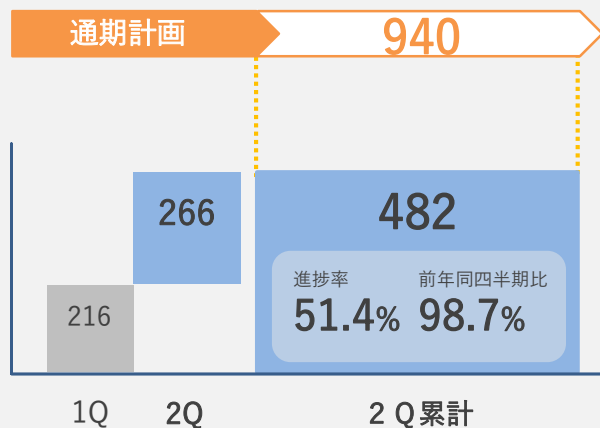
営業利益



経常利益



当期純利益



CHECK

市況停滞を打破、全体業績は概ね例年並みに。
今期成長のドライブは“提案での既存顧客深耕”

- 新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、第1四半期に続き、当第2四半期でも善戦したことにより増収。
- 公共分野が安定した事業基盤を強みにけん引しつつ、市況の緩やかな回復・商談機会の獲得等を受けて、下期に向け、守りから攻めへの転換準備が整う。

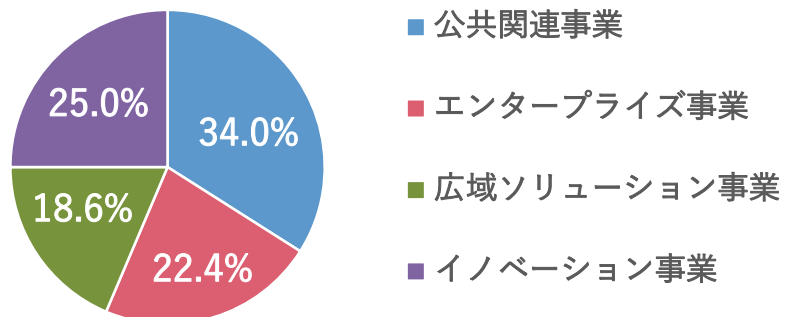
(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	公共関連事業	エンター プライズ事業	広域 ソリューション 事業	イノベーション 事業			
売上高	3,822	2,519	2,085	2,807	11,234	-	11,234
セグメント利益	663	261	272	242	1,440	△753	687

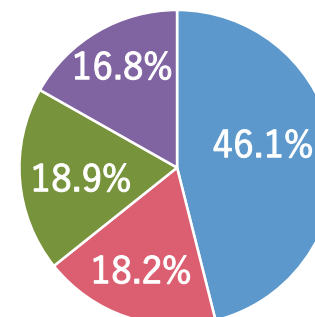
(注) 1 セグメント利益の調整額△753百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費（全社費用）です。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

売上高 構成比

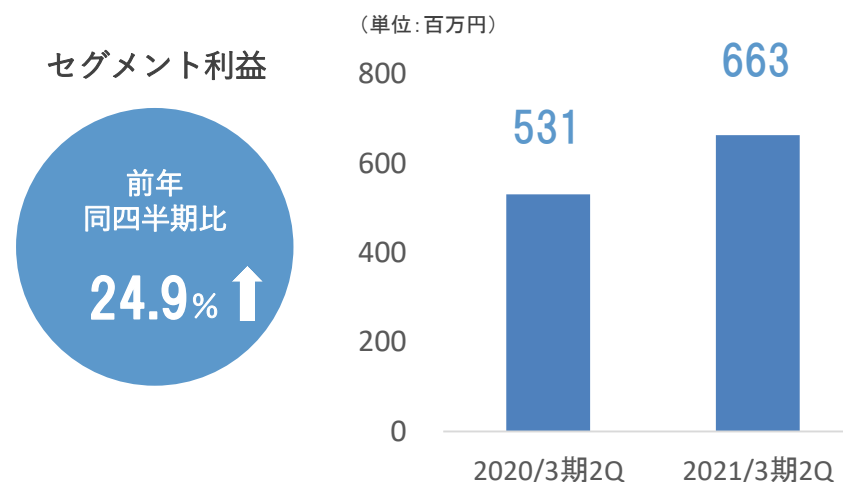
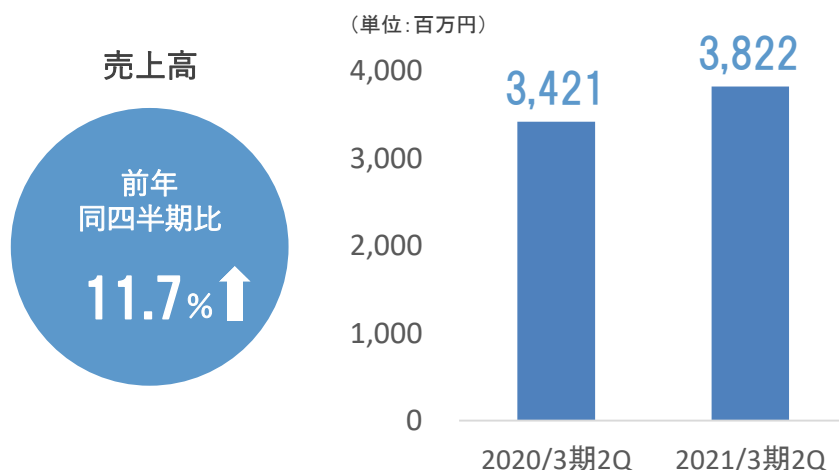


セグメント利益 構成比



公共関連

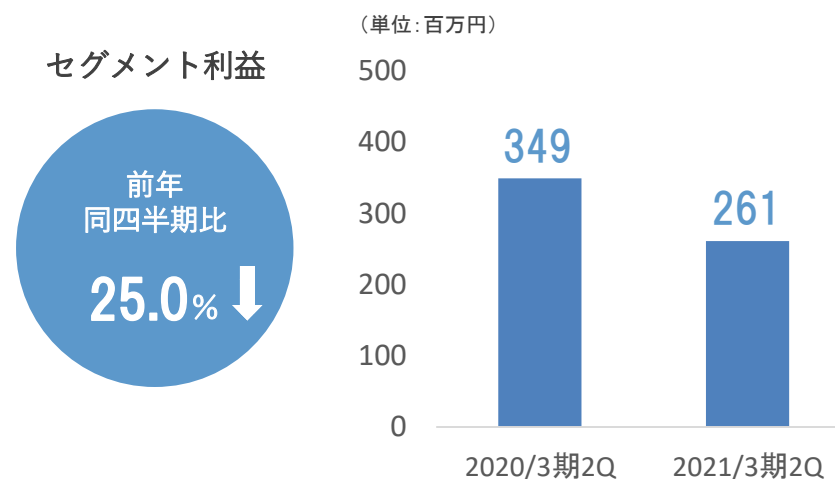
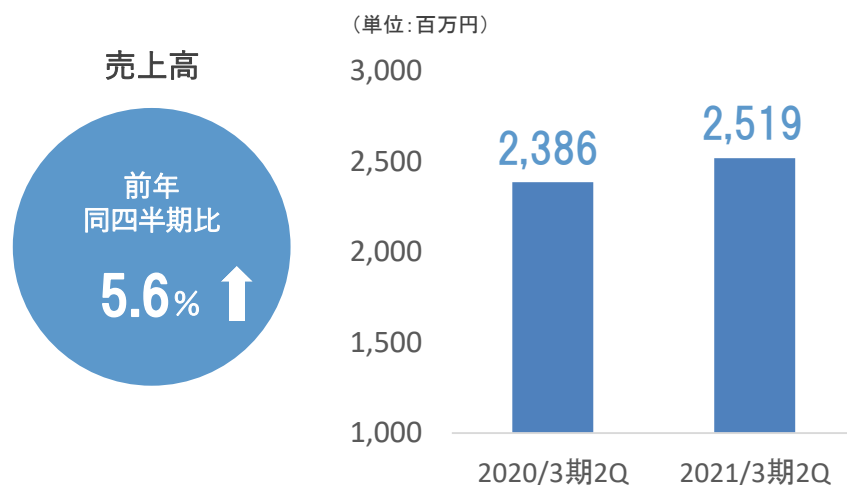
主に官公庁及び地方自治体を最終ユーザーとする社会インフラ基盤に係るシステムの設計・製造からシステム稼動後の運用・保守



- 開発フェーズ・運用フェーズの波はあるものの、総じて案件が手堅く進む中、公的医療保険系大型案件が大きく業績に寄与し、増収増益。
- 事業部間に横串を刺した管理体制・要員調整等、次年度以降を見据えた戦略的な組織体制の強化が進む。

エンタープライズ

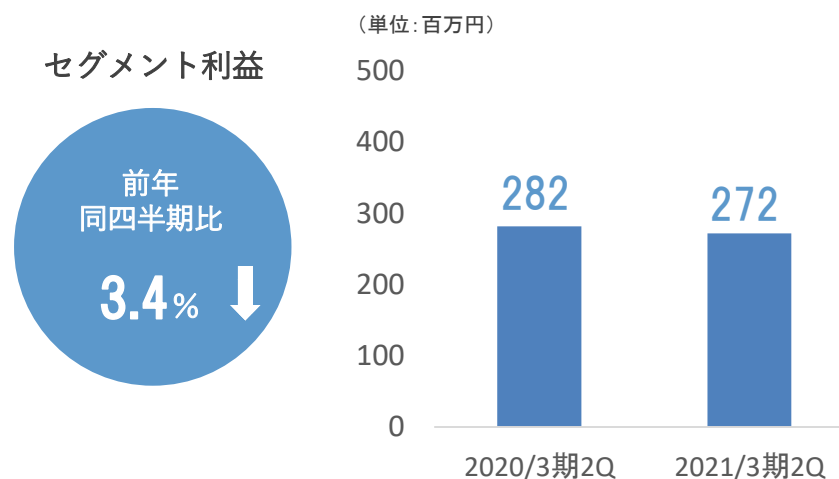
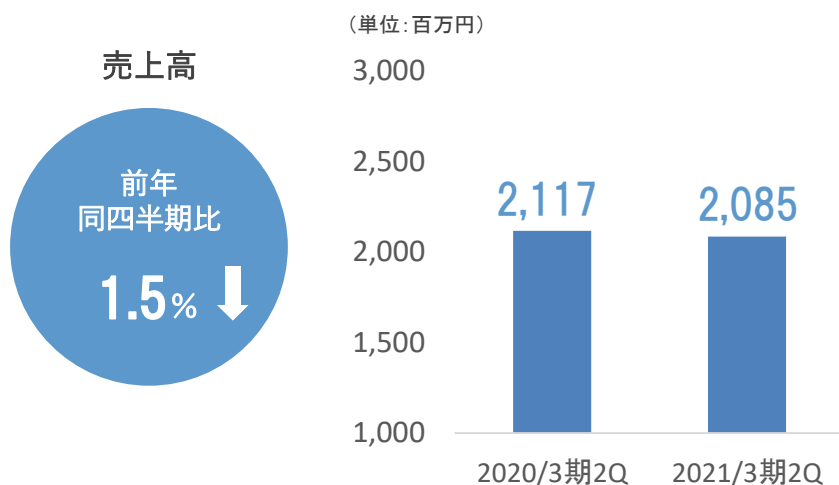
主に法人企業の基幹業務システム・Webシステムの開発、ネットワーク・インフラの設計・構築、RPAソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング



- コロナ禍における開発案件の停滞をカバーするため、情報とチームの連携強化で売上確保に努めるも、下期巻返しに向けた案件の掘起こしに伴う経費増により、増収減益。
- 仮想クラウド分野はじめ、次年度以降を見据えた顧客のニーズを掌握。対応の下準備が進む。

広域ソリューション

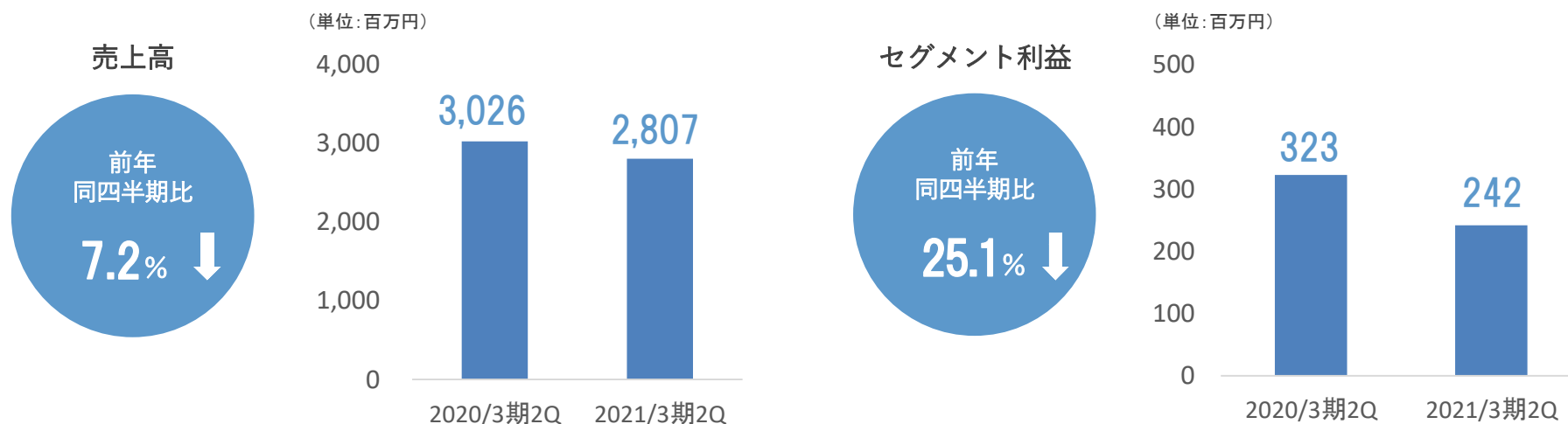
主に東京・名古屋・大阪地域における、通信制御システム開発、組込みシステム開発、民間企業・行政機関向けシステム開発、AIソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング



- 名古屋圏に市況停滞感が漂うものの、同セグメント全体では、既存顧客を中心に展開した提案営業が奏功し、売上・利益共に微減に留める。
- 開発の合理化ひいては生産性向上に役立つ「ローコード開発」等、近年需要の高まりを受け、取りこぼさないよう人材開発の準備が進む。

イノベーション

主にインフラ基盤設計・構築、メインフレーム構築、システム開発、付随する運用・保守、自社製品の製造、IoTソリューションの提供



- ITサービス案件が概ね計画通りに進捗した一方で、セキュリティ分野において一部競争激化。これを受けて事業戦略の見直しを進めるとともにコストコントロールを実施するも、減収減益。
- 主要顧客の一社である日本IBM様とのビジネス拡充を進める。エンドユーザーのビジネス理解・改善提案を深め、下期顧客基盤の維持から拡大へ。

(単位：百万円)

	前事業年度	当第2四半期会計期間
(資産の部)		
流動資産	9,835	10,288
固定資産	5,526	7,343
有形固定資産	3,596	3,589
無形固定資産	50	90
投資その他の資産	1,878	3,663
資産合計	15,361	17,631
(負債の部)		
流動負債	4,829	4,884
固定負債	1,646	2,370
負債合計	6,475	7,254
(純資産の部)		
株主資本	8,487	8,683
資本金	2,905	2,905
資本剰余金	2,138	2,148
利益剰余金	3,803	3,985
自己株式	△359	△354
評価・換算差額等	398	1,693
純資産合計	8,885	10,377
負債純資産合計	15,361	17,631

前事業年度末比で2,270百万円増加

(主な増加理由)

- ・投資有価証券の増加 1,866百万円
- ・現金及び預金の増加 1,245百万円
- ・仕掛品の増加 99百万円

(主な減少理由)

- ・売掛金の減少 852百万円

前事業年度末比で779百万円増加

(主な増加理由)

- ・繰延税金負債の増加 499百万円
- ・長期借入金の増加 486百万円
- ・短期借入金の増加 404百万円

(主な減少理由)

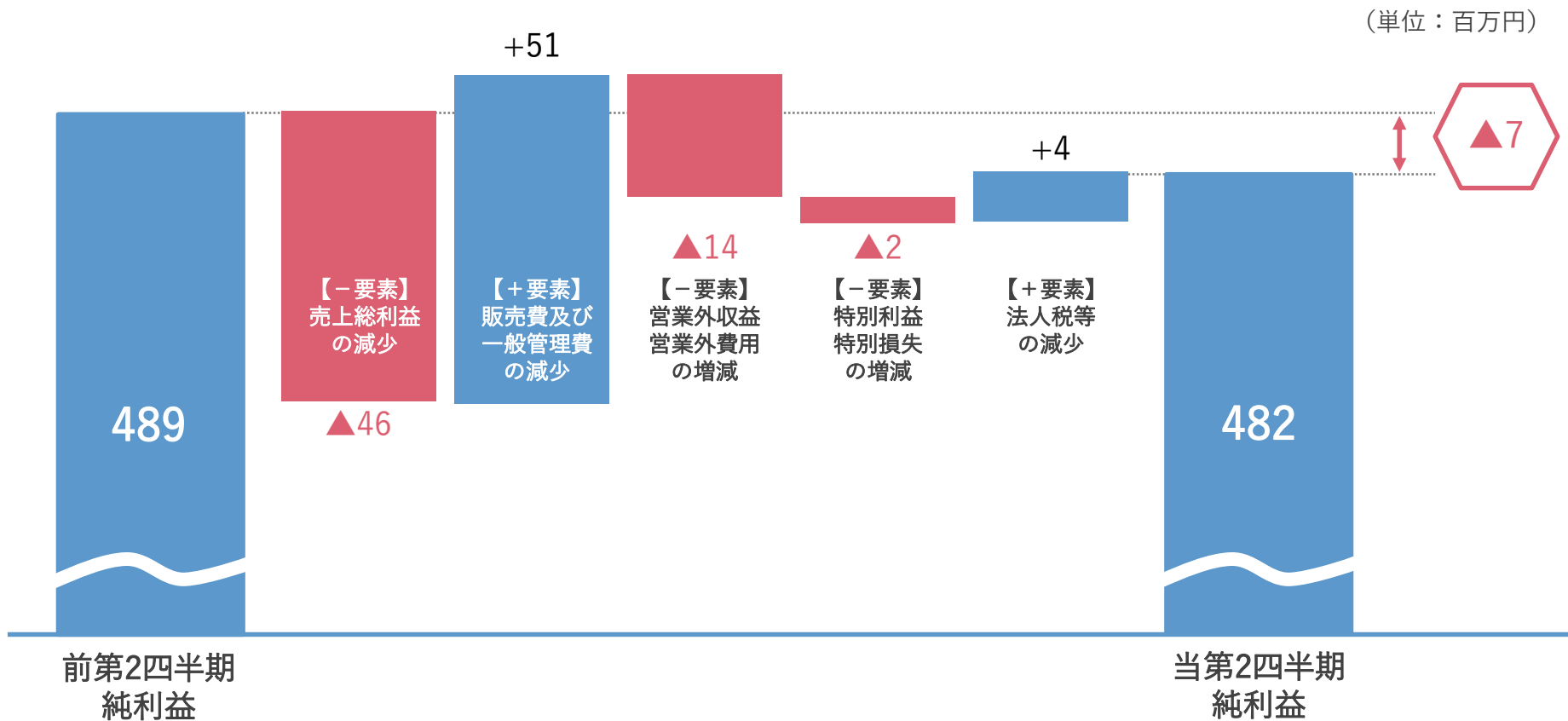
- ・社債の減少 265百万円
- ・未払金の減少 243百万円
- ・買掛金の減少 123百万円

前年同四半期比で1,492百万円増加

(主な増加理由)

- ・その他有価証券評価差額金の増加 1,295百万円
- ・利益剰余金の増加 182百万円

■ 主に販管費抑制等に努め、純利益への影響は軽微に留まった。



(単位：百万円)

	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	488	931
投資活動によるキャッシュ・フロー	△298	△88
財務活動によるキャッシュ・フロー	△175	399
現金及び現金同等物の増減額	14	1,242
現金及び現金同等物の期首残高	4,778	4,062
現金及び現金同等物の期末残高	4,792	5,304

931百万円の収入

(主な収入)

・売上債権の減少額	876百万円
・税引前四半期純利益	727百万円

(主な支出)

・法人税等の支払額	298百万円
・未払金の減少額	223百万円
・仕入債務の減少額	123百万円

88百万円の支出

(主な収入)

・保険積立金の解約による収入	65百万円
----------------	-------

(主な支出)

・有形固定資産の取得による支出	64百万円
・無形固定資産の取得による支出	58百万円

399百万円の収入

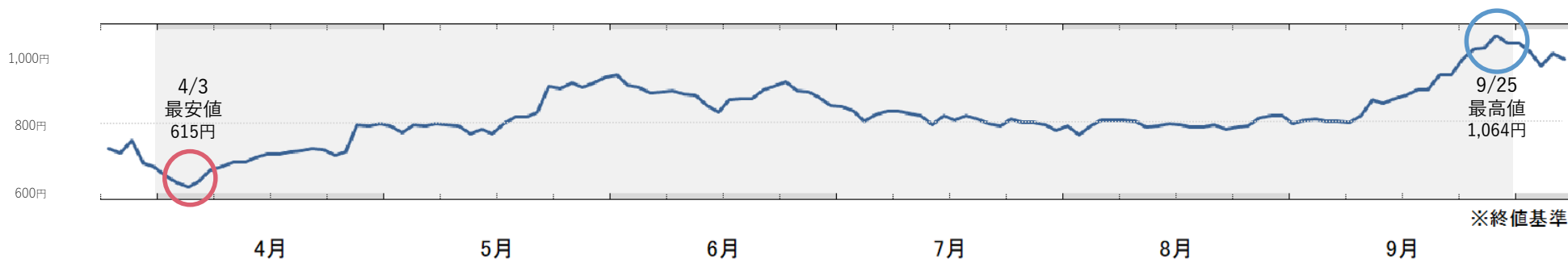
(主な収入)

・長期借入れによる収入	900百万円
・短期借入金純増額	404百万円

(主な支出)

・社債の償還による支出	345百万円
・配当金の支払額	299百万円
・長期借入金の返済による支出	260百万円

前年同四半期累計期間比で512百万円の増加



4/7 リリース IoT

IoTゲートウェイメーカーとのパートナープログラム締結

- ▶ マーケティングの強化
- ▶ サポート体制の強化
- ▶ セールスの拡大

5/25 リリース AI

冠動脈イメージングにおけるAI解析ソフトウェア開発着手

- ▶ AIによる画像判定
- ▶ 治療方針の検討
- ▶ 病態メカニズム解明を助ける

7/30 リリース AI

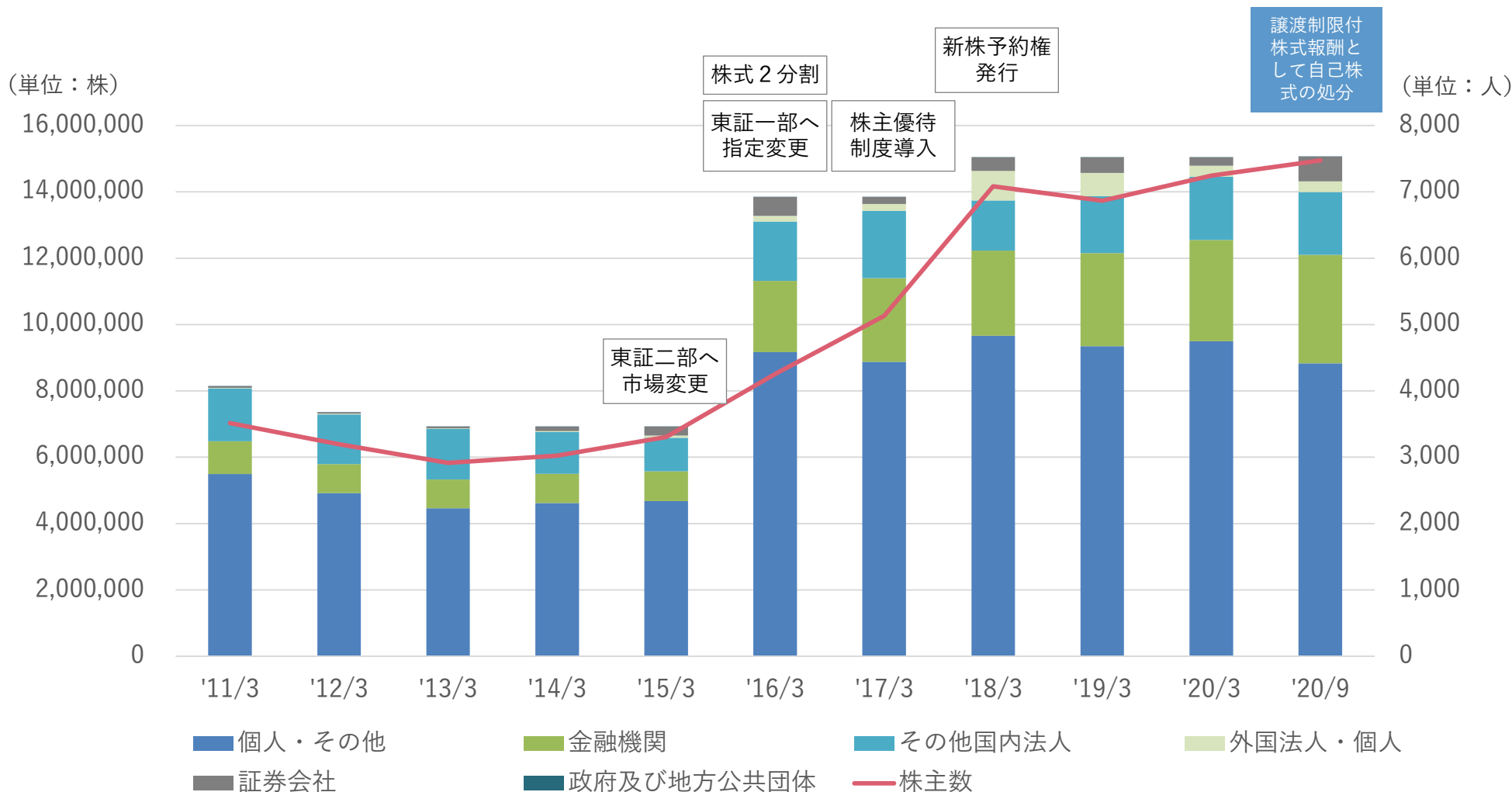
脳核医学領域初 AIを用いた検査時間短縮の共同研究開始

- ▶ 横浜市立大学医学部放射線診断学教室との共同研究
- ▶ 検査時間約5分の1を目指す
- ▶ 患者の負担軽減・検査効率の向上

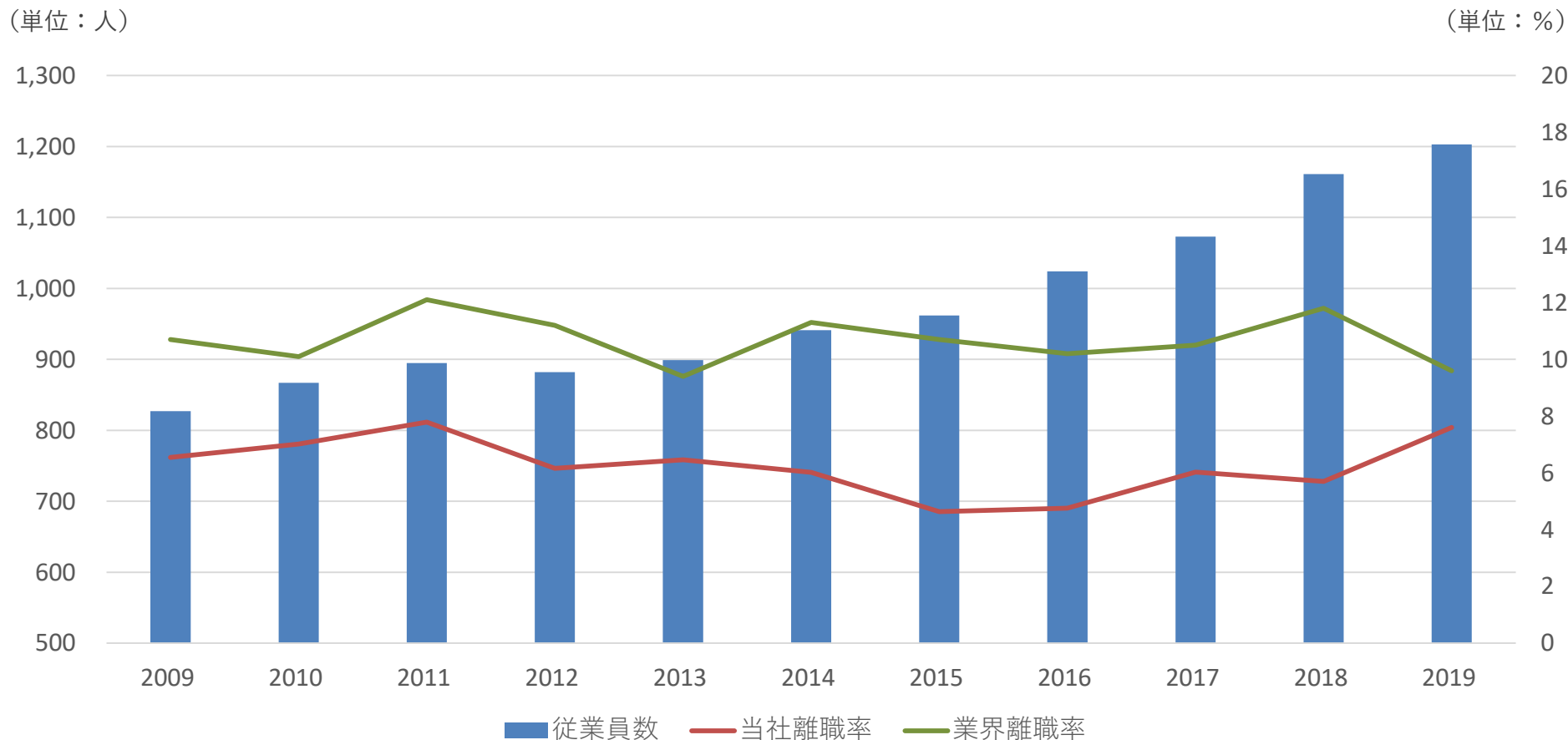
	2019/3期	2020/3期	2021/3期 (予想)
1株当たり当期純利益	58.11円	61.83円	62.43円
1株当たり配当金	実績・予想	20.00円	25.00円 (令和記念配当5.00円含む)
	期首計画	15.00円	20.00円
配当性向	34.4%	40.4%	32.0%

■ 2020/9末の株主総数は7,471人（2020/3末比 226名増）

■ 個人株主・外国人株主の株数が減少し、証券会社・投資信託の株数が増加



■ 従業員数は「採用強化」及び「企業の魅力付け」により堅調に増加。IT人材の流動性が高まる中、組織的なマネジメント & サポート体制・研修制度等の充実で、業界離職率を下回る離職率を堅持。



※業界離職率は「雇用動向調査結果の概要」(厚生労働省)より抜粋

※当社離職率は年度、業界離職率は年を基準としている。

2 2021/3期（第45期）業績予想

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響長期化を鑑み、2020/3期と同等の売上高・利益となる予想。
- 配当金は、2020/3期の普通配当「20.00円/株」を維持する見込み。

	2020/3期 実績 (百万円)	2021/3期 予想 (百万円)	前期比増減率 (%)
売上高	22,703	22,800	0.4
営業利益	1,428	1,430	0.1
経常利益	1,467	1,430	△2.6
当期純利益	930	940	1.0

	2020/3期 実績	2021/3期 (予想)
1株当たり当期純利益 (円)	61.83	62.43
1株当たり配当金 (円)	普通配当 20.00 + 令和記念配当 5.00 25.00	20.00
配当性向 (%)	40.4	32.0

非連結通期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期 ※2	2020/3期 ※2
売上高（百万円）	16,482	17,846	19,327	21,453	22,703
営業利益（百万円）	953	743	1,025	1,368	1,428
経常利益（百万円）	950	731	1,019	1,375	1,467
当期純利益（百万円）	738	551	719	874	930
資本金（百万円）	2,905	2,905	2,905	2,905	2,905
発行株式総数（千株）※1	16,292	16,292	16,292	16,292	16,292
純資産額（百万円）	7,415	7,258	9,201	9,106	8,885
総資産額（百万円）	14,936	14,567	16,820	15,991	15,361
1株当たり純資産額（円）※1	535.58	524.24	611.34	605.04	590.56
1株当たり配当額（円）※1	16.00	12.50	16.00	20.00	25.00
1株当たり当期純利益（円）※1	53.36	39.83	51.21	58.11	61.83
自己資本比率（％）	49.6	49.8	54.7	56.9	57.8
自己資本利益率（％）	10.4	7.5	8.7	9.6	10.3
配当性向（％）	30.0	31.4	31.2	34.4	40.4
従業員数（人）	1,024	1,073	1,116	1,161	1,203
株価 年度高値（円）※1	888	634	1,350	1,153	1,085
株価 年度安値（円）※1	340	412	503	774	583

※1 株式分割後（2015年10月1日、普通株式1株→2株）の数値で算定しております。

※2 「総資産額（千円）」及び「自己資本比率（％）」は、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を適用した後の数値となっております。

3

<ご参考> トピックス

2020
4/7

IoTゲートウェイメーカーのぷらっとホーム株式会社とIoTセンサー・デバイスパートナープログラムを締結

- ✓ 当社のBLEビーコン（FCS1301、timbe）は「小型」で身に着ける、持ち運ぶという点で非常に優位性が高く、人やモノの屋内位置測位等での実績が増加している。
- ✓ マーケティング、セールス、サポート面での強化を図り導入実績の増加を目指す。

2020
5/25

虚血性心疾患を対象とした冠動脈イメージングにおけるAI解析ソフトの開発着手

- ✓ 昭和大学医学部循環器内科の新家教授及び株式会社マイクロンと虚血性心疾患における冠動脈内のイメージング画像を解析するAIソフトの開発に着手。
- ✓ 将来的には虚血性心疾患だけでなく幅広い病気に対してAI画像診断が応用されることが期待できる。
- ✓ 2021年度「臨床現場での実用化」を目指す。

2020
7/30

横浜市立大学と脳核医学領域初 AI仮想画像の生成で、検査時間5分の1を目指す

- ✓ 核医学検査において通常30～45分かかる撮影時間を5分間で撮影し、AIが通常と同等の診断精度をもつ仮想画像を生成。
- ✓ 患者の負担軽減だけでなく、医療スタッフの業務効率化や検査効率の向上、さらには高額機器の有効活用など多くのメリットが期待できる。

2020
10/20

AIの自然言語処理を活用した製品安全業務支援システムの 開発を受託

- ✓ 独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センターにおいて、膨大な数に上る事故情報の管理及び分析作業にかかっている職員負担を軽減し、業務を効率化。
- ✓ 「教師データ生成システムの研究(2019年)」、「問い合わせ対応履歴からQ&Aデータを作成するために開発したソフトウェアの導入(2020年)」等、当社が蓄積してきたAIの自然言語処理に関するノウハウを活用。

2020
10/23

オンラインでの相互コミュニケーションに革新を 業界初！グループワークの話し合いをリアルタイムで見える化

- ✓ 当社とハイラブル株式会社が共同研究に着手。共同研究の中核システムは「Hylable」で、従来の機能はグループワークにおける話し合いの様子をテキストやグラフ等で表示すること。当社は「話し合いの可視化、字幕の生成、アラートの発動、集約したデータの統合表示」等“リアルタイム”にグループワークの様子を把握できるようにする機能追加を担う。
- ✓ 遠隔地にいる講師がオンライン上でも参加者に寄り添えるようになり、利用者満足度及び教育・研修品質の向上につなげる。
- ✓ 同中核システムが「日本e-Learning大賞 厚生労働大臣賞」を受賞するなど、共同研究に勢い。本研究成果により生じる知的財産権は当社とハイラブル社とで共有利用する。

4

<ご参考> 当社の概要

事業内容	コンピュータシステムのコンサルティング・受託開発 システムの保守・運用管理、技術支援 情報セキュリティ関連技術・商品の開発・販売 ソフトウェアパッケージの開発・販売 Webコンテンツの企画・制作など その他、各種コンピュータ関連事業
本社	東京都品川区東五反田2-7-8 フォーカス五反田ビル
事業拠点	東京、大阪、名古屋
資本金	29億円
上場市場	東証第一部（証券コード：4662）
従業員	1,203名（2020年3月31日現在）

- 1977年 ソフトウェア開発を目的として、株式会社フォーカスシステムズを設立
- 1978年 沖電気工業(株)と取引を開始し、電子交換機のソフトウェア開発業務開始
- 1988年 日本電信電話(株)（現(株)NTTデータ）と取引を開始し、官公庁向けシステムの受託開発開始
- 1996年 日本証券業協会に株式を店頭登録（現 東京証券取引所JASDAQスタンダード）
- 1997年 日本IBM(株)と取引を開始し、システム保守・運用／インフラ技術支援業務の受託開始
- 1999年 セキュリティ部門の受託開始（情報セキュリティ事業開始）
- 2004年 情報セキュリティでの新分野デジタルフォレンジック製品販売開始
- 2015年 東京証券取引所市場第二部へ市場変更
- 2016年 東京証券取引所市場第一部銘柄へ指定替え

 3つのFOCUS1st FOCUSシステム
インテグレーション

情報システムの導入に際し、お客様の業務目的に応じた情報システムの企画・開発から、運用までを総合的に行います。

2nd FOCUS

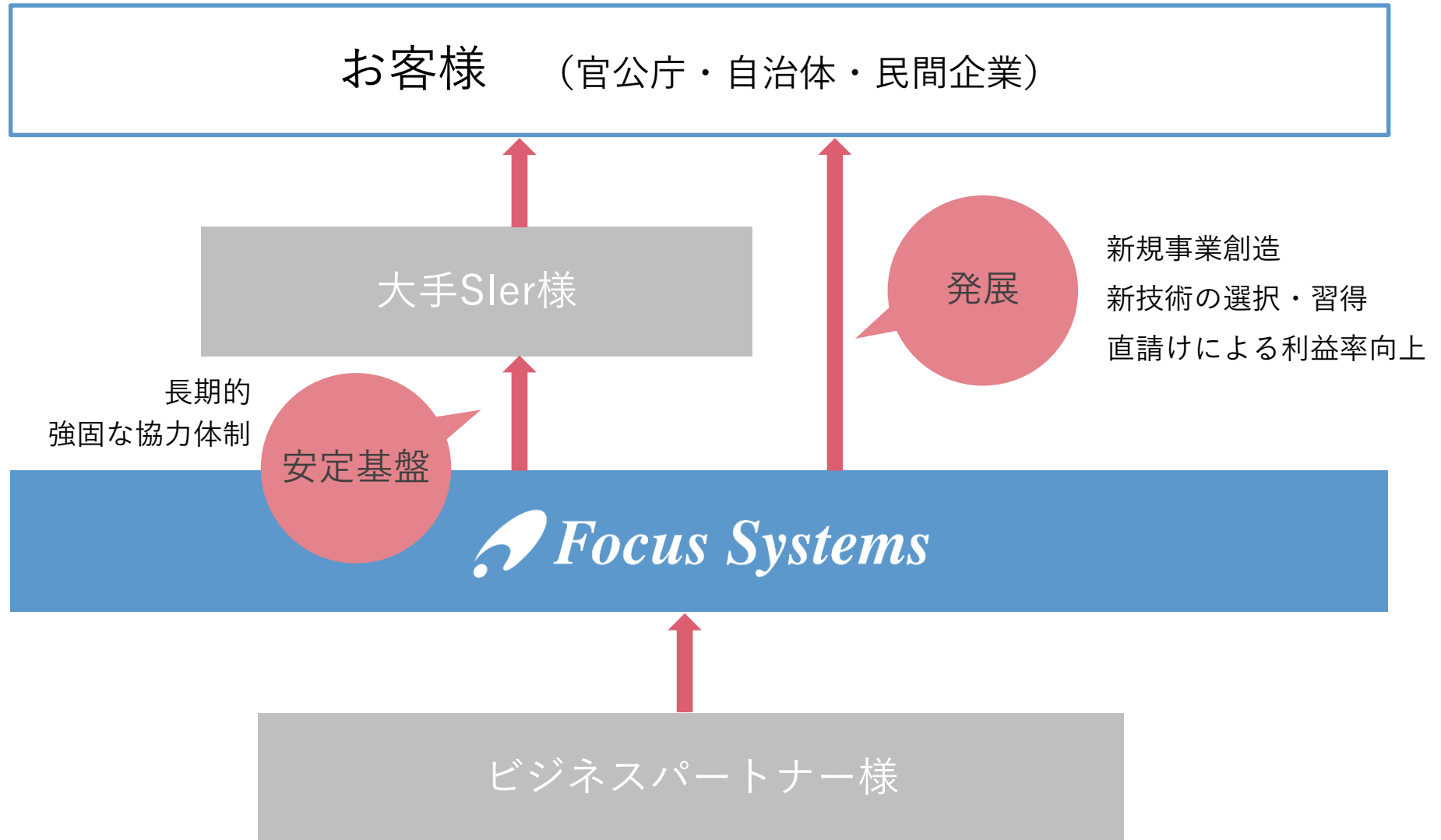
ITサービス

システムの可用性と信頼性を高めるため、インフラ設計・構築や技術サポート、運用サポートを行います。

3rd FOCUS

情報セキュリティ

暗号、電子透かしなどの情報セキュリティ技術で「情報リスク」をコントロールします。



サイバーセキュリティ

サイバー攻撃に対する防御や事後対応、
ハイテク犯罪調査ソリューション

Web アプリケーション

システム共通基盤 (intra-mart 等)、ERP パッケージ
を用いた、ソリューション提案から開発、保守運用

通信制御システム

携帯電話基地局、ルータやゲート
ウェイなど、通信制御装置の
ファームウェアの開発

電子行政システム

行政サービスの電子化に伴う
システムの開発

自動車登録システム

車、バイク等の所有者や車検状況を
管理するシステムの開発

フォーカスシステムズの技術は、さまざまなシーンで社会を支えています。

RPA

ロボットによる業務自動化により、
生産効率を上げるソリューション

航空管制システム

管制官が使用する、いわば
「空の信号機」システムの開発

暗号技術

電子情報を漏洩や改ざん
などのリスクから守る
ための次世代暗号技術

貿易流通システム

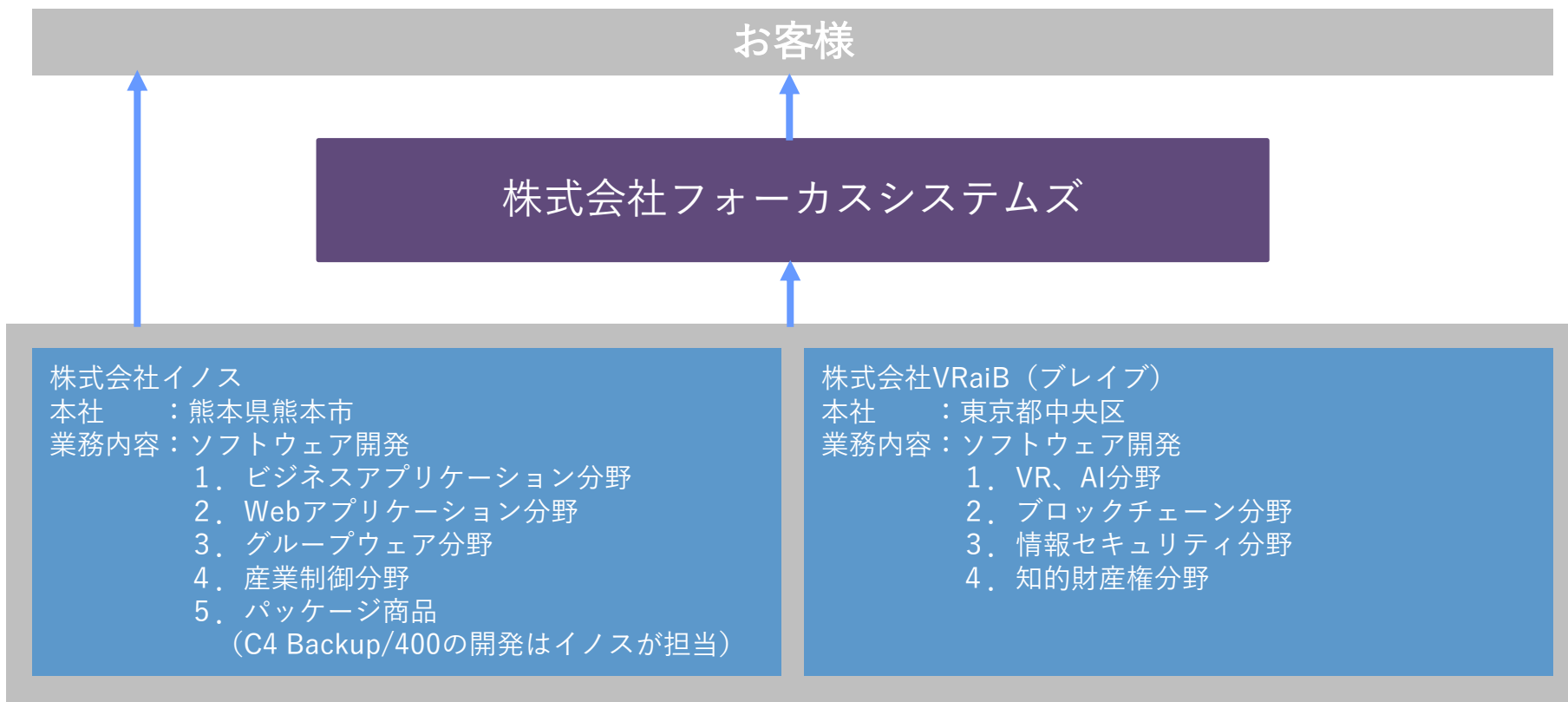
輸出入に関する手続きを
処理するシステムの開発

Beacon 開発

Bluetooth®Smart 規格に準拠した
薄型ウェアラブルデバイスの製造、
ソリューション提案からアプリケー
ション開発

福祉介護システム

要介護者が受けている介護内容を
管理するシステムの開発



関連会社の状況 (2020年9月)

社名	持分 (%)	売上高 (千円)	経常利益 (千円)	純利益 (千円)
株式会社イノス	20.0	631,831	48,033	37,328
株式会社VRaiB	20.0	6,206	△1,698	301



経済産業省および日本健康会議が共同で優良な健康経営を実践している法人を認定する「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」に選定されました。

1 部活動支援

- ・・・社員の健康を促進するため、部活動への活動支援を実施。現在、9つの部活に約150名が所属。



2 健康管理セミナー

- ・・・生活習慣改善と肥満予防のための食事改善セミナーや、睡眠時無呼吸症候群の予防・改善など、テーマ別のセミナーを実施。



「今日からはじめるウォーキング」
「生活習慣改善セミナー」も実施

✂️ ワークライフバランス

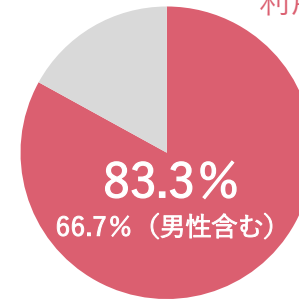
1 短日・短時間勤務制度

…仕事と育児・介護の両立を支援する制度。
 短日（週3日）、短時間（1日5または6時間）が選択可能。
 ※育児は小学校3年生まで、介護は介護事由がなくなるまで可。
 ※同制度上で、フレックス制度も適用可。

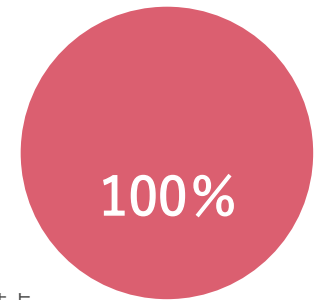
くるみん（次世代育成支援）
認定



育児休業あけ
短日・短時間勤務制度
利用率



育児休業取得した社員の
復職率



※2020年3月末時点

2 ジョブリターン制度（再雇用制度）

…ライフイベント（結婚・出産・育児）や
 キャリアアップ（留学・転職）を目的として退職した場合、
 10年以内であれば再雇用OK。

3 フレックス制度

…自分のライフスタイルに合わせた働き方を支援する制度。



ダイバーシティ

1 職域創成

- ・・・障害者雇用の新たな職域創成を目指し、水耕栽培による野菜の生産業務を2015年に開始。現在は、事務系職域の開拓も推進。「障がい者雇用率制度への対応実績推移」は次頁参照
活動の様子は、当社ブログ「[障がい者広報\(フォーカスNAVI内\)](#)」で随時配信。



フォーカスNAVI
障がい者広報



https://magazine.focus-s.com/category/news/pwd_pr/

2 女性社員交流会

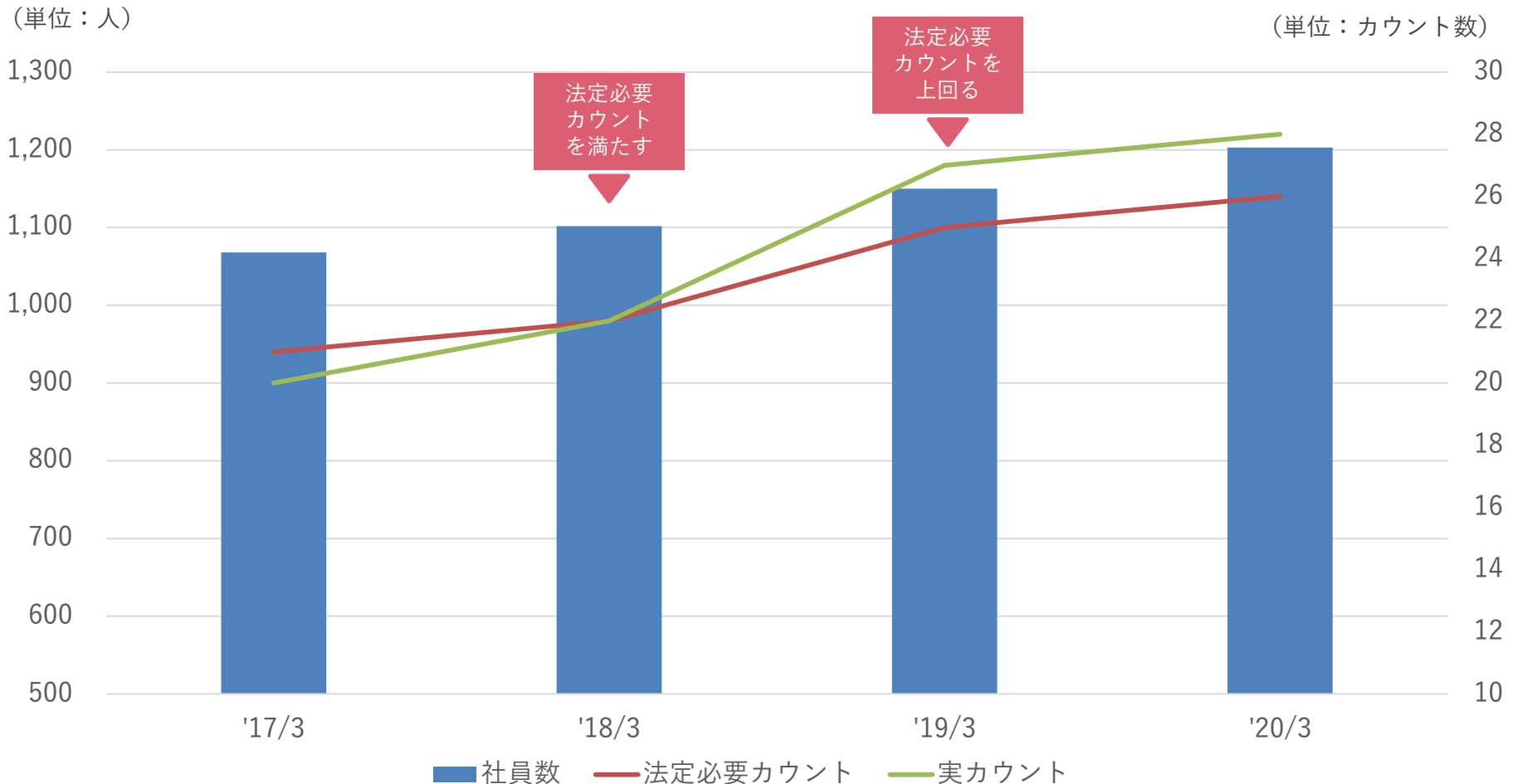
- ・・・若年層の女性を対象に、働き方などを伝え、キャリアプラン形成のサポートを実施。



えるぼし (女性活躍推進)

女性活躍推進法に基づく優良企業として「えるぼし認定」取得。

- 農業及び事務の職域開拓を図り、多くの障がい者が長く働ける環境を整備。
- 障がい者と働くことへの理解を促進する社内研修を実施し、受入れ体制を強化。

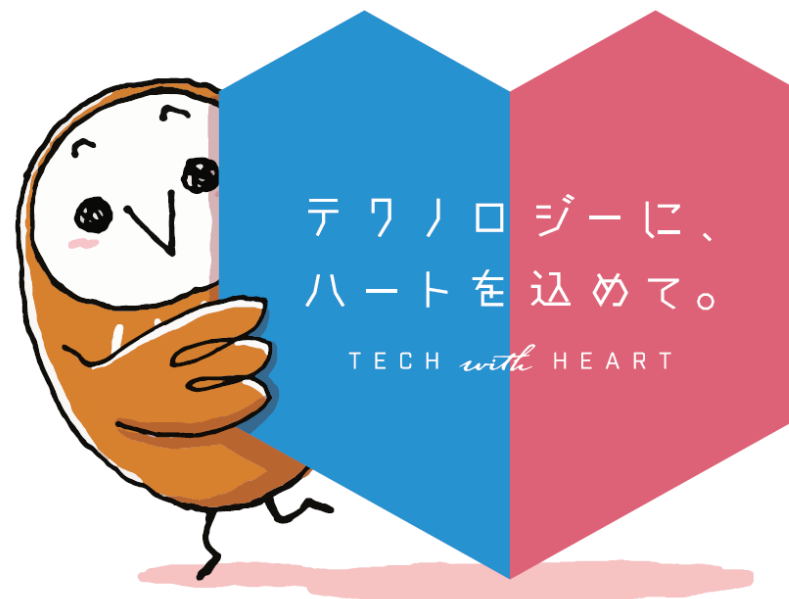


マスコットキャラクター 「ふくえさん」

フォーカスシステムズや情報システムの世界を身近に感じて頂くよう
ビジネスのこと、従業員のこと、未来のこと・・・
ふくえさんを通してさまざまな情報を発信しています。



今後とも、ご指導ご支援のほど
よろしくお願い申し上げます。



本資料は、2020年11月13日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る2020年11月13日現在における仮定を前提としております。
実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
従って、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。